

令和7年度（2025年度）

管理事業名	農業振興事業				総合計画 の体系		大綱 7 都市魅力			
							政策 1	地域経済の活性化を図るまちづくり		
							施策 1	産業振興と創業支援		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	6	農業費	(項)	1	農業費	(目)	2	農業総務費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属		地域経済振興室						

事業の目的と概要

【目的】農業の振興を目的とする。

【内容】・市民が花とみどりにふれあえる場を提供することを目的とし、農家に草花の栽培を奨励するため、栽培を行う農家に花の種子を配付し開花状況に応じて助成金を交付する。

・農地の有効活用のために市民農園を開設する農家に対して、補助金を交付するとともに農園利用者への栽培講習会を開催する。

・市民の農業・農地に対する理解を深めるため、水稻やさつまいも等の農作物の作付から収穫までを体験する事業を実施する。

・吹田市産農産物の地元での消費の推進を図るため、産業フェアや朝市等のイベントで、特産品の「吹田くわい」や「新たまねぎ」をはじめ、地場野菜等の販売を行う。また、特産品の栽培奨励のための補助金を交付する。

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
景観形成作物の作付面積	m ²	53,107	48,381	43,086	吹田市内農地の景観形成作物の作付面積
農作業体験事業の参加者	人	295	325	321	農作業体験「ふれ愛農園」の延べ参加者数
市民農園数	園	19	18	18	吹田市内の市民農園数
生産緑地面積	ha	40.35	39.66	39.58	生産緑地の面積

II 活動実績・成果

【成果指標1】景観形成作物の作付面積についての評価 ・景観形成作物の栽培については、農業者の高齢化や農地の減少が進んでいるものの、継続的に取り組んでいる農家も多く、開花時期に開催する「花の観賞会」には多くの市民が集い、人気を博している。 ※令和6年度行政評価から指標「景観形成作物の開花面積」を「景観形成作物の作付面積」に変更 【成果指標2】農作業体験事業の参加者数についての評価 ・登録者数：20組(75人)、実施回数：7回、参加率：61.1% ・令和6年度から実施回数を6回から7回に増加したため、参加者数が増加した。 【成果指標3】市民農園数についての評価 ・市民農園数に増減はなかった。 【成果指標4】生産緑地面積についての評価 ・生産緑地においても農地転用があり、年々減少傾向にある。		
---	--	--

III 課題と今後の取組

本市は全域市街化区域であり、都市部に農地が点在していることから住宅地と隣接しているため、農業散布や農業用水の確保などが困難で農業経営には厳しい環境となっている。 しかし、農作業体験や安心・安全な農産物を身近で求める市民ニーズに合致した地産地消の推進、また農地保全に係る市民農園や花とみどりふれあい農園関係など、都市部の農地の多面的機能を活用する農業振興事業は必要な事業と考える。 なお、市民農園や農作業体験はニーズが高いことから、現在市民農園については農家への新規開園の働きかけを行い、農作業体験については参加者数の拡大に向けた取組を進めている。	益々の都市化の進展により、今後も農地の減少が予想されるが、引き続き市民の農業・農地に対する理解の醸成に努め、農業振興関連施策を継続していく。
--	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位:千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	1,540	1,865	325
現金預金	-	-	-	地方債	-	-	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,540	1,865	325
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産				固定負債	13,860	15,805	1,945
有形固定資産	258,726	258,726	-	地方債	-	-	-
土地	258,726	258,726	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	13,860	15,805	1,945
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	15,400	17,670	2,270
インフラ資産	-	-	-	純資産	243,326	241,056	△2,270
有形固定資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	258,726	258,726	-	純資産の部合計	243,326	241,056	△2,270
				負債及び純資産の部合計	258,726	258,726	-

◆行政コスト計算書【PL】

(単位:千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	354	315	343	28
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	142	149	221	72
経常収入 小計(a)	496	464	564	100
経常費用				
給与関係費	24,437	24,572	28,379	3,806
物件費	4,013	1,460	1,917	457
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	2,572	2,434	2,264	△170
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,604	1,540	1,865	325
退職手当引当金繰入額	1,109	642	2,579	1,937
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	33,736	30,649	37,005	6,356
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△33,240	△30,185	△36,442	△6,257
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	1,738	-	△1,738
特別収入 小計(d)	-	1,738	-	△1,738
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	1,738	-	-	-
特別費用 小計(e)	1,738	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△1,738	1,738	-	△1,738
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△34,978	△28,447	△36,442	△7,995
一般財源充当額	34,554	28,997	34,171	5,174
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△424	550	△2,270	△2,821

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位:千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	496	2,202	564	△1,638
行政サービス活動支出	35,050	31,199	34,735	3,536
行政サービス活動収支差額	△34,554	△28,997	△34,171	△5,174
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△34,554	△28,997	△34,171	△5,174
一般財源充当額	34,554	28,997	34,171	5,174
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特微的な事項

勘定科目等	特微的な事項
【PL】 給与関係費	主な増額理由は、令和7年度から会計年度任用職員を増員していることと再任用職員(短時間勤務)が正規職員に変わったことによるもの
【PL】 物件費	主な増額理由は、令和7年度に佐井寺3丁目1番街区農地周辺及び紫金山公園農地周辺除草業務を実施し、発生した委託料(409千円)によるもの
【PL】 負担金・補助金・交付金等	主な減額理由は、花とみどりふれあい農園推進事業助成金352千円(△69千円) 地産地消推進事業補助金277千円(△79千円)
【PL】 特別収入・費用/その他	減額の理由は、令和5年度に実施した農地災害に関する復旧工事の補助金収入が令和6年度にあったため

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市民1人	コスト 88 円 実績 382,336 人	コスト 80 円 実績 382,336 人	コスト 96 円 実績 385,999 人

分析内容 市民1人当たり、96円のコストがかかっている。(各年3月31日現在の吹田市の人口で算出) 前年比、16円増。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	24,470	1,227	2.37
会計年度任用等	8,354		
特別職非常勤	-		
合計	32,823		

分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.6	92.9	98.4	5.5